



各 位

2025年10月29日

上場会社名 株式会社 小森コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 持田 訓
(コード番号 6349 東証プライム)
問合せ先責任者 取締役グローバル経営管理統括本部
統括本部長 橋本 巖
(TEL 03-5608-7826)

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025年5月14日に公表した2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と、本日公表しました実績値との差異に関しお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異(2025年4月1日～2025年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2025年5月14日発表)	58,600	3,800	3,700	2,600	49円00銭
実績値(B)	52,215	3,156	3,643	2,357	44円43銭
増減額(B-A)	△ 6,385	△ 644	△ 57	△ 243	
増減率(%)	△ 10.9	△ 16.9	△ 1.5	△ 9.3	
(ご参考)前期第2四半期(中間期) 実績(2025年3月期)	50,135	1,306	1,406	1,005	18円95銭

2. 差異の理由

(1) 2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績の差異について

2026年3月期第2四半期連結累計期間において、世界各地の景況感は比較的堅調に推移しているものの、米国の輸入関税政策をめぐる不透明な動向により、一部商談の先送りや機械の搬入・据付の延期が発生しました。この影響により、第1四半期連結会計期間では一時的な混乱が見られましたが、第2四半期連結会計期間にかけて徐々に落ち着きを取り戻しました。前年同期比では増収を維持しているものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は、計画値を10.9%下回る結果となりました。

利益面では、売上減少の影響を受け、営業利益は予想比で16.9%の減少となりました。一方、経常利益については、為替レートが当初予想より円安で推移したことにより為替差損益が好転し、当初予想からの減少幅は1.5%まで縮小しました。親会社株主に帰属する中間純利益は、地域別の税金発生の違いにより、当初予想から9.3%の減少となりました。

(2) 2026年3月期通期連結業績予想について

2026年3月期通期連結業績予想については、直近の状況を踏まえ地域別の売上高の構成を変更しておりますが、各業績予想数値は、当初予想から変更しておりません。

以上